

純国産で初登場！ ロングパイル人工芝管理の決定版

ブラッシング、クリーニング、すり込みを同時に行う 国産初のロングパイル人工芝管理機 MR-1200

最新スポーツサーフェスとして、近年、飛躍的に普及しているロングパイル人工芝。日常の維持・管理に易しい芝として認知されているが、永く、美しく、快適に使い続けるには、メンテナンスが不可欠である。これまでの常識に挑む、ほぐし&起こし、ゴミ除去、すり込みの三役をこなす、画期的なロングパイル人工芝管理機 MR-1200 を紹介する。



ロングパイル人工芝管理機 MR-1200

ロングパイル人工芝

サッカーや野球、テニスなどのスポーツでプレーのレベルが大きく進化している近年、プレーヤーのコンディションを支えるグラウンドの芝も格段に進化を遂げている。これまでの土や芝のグラウンドに代わり、2000年ごろから飛躍的に人工芝の導入が進んでいる。なかでも、55mm前後の人工芝に専用の珪砂とゴムチップを充填したロングパイル人工芝が好評を得ている。人工芝も使用頻度が増すと繊維かすや落ち葉、芝の倒れやゴムチップの硬化によるプ

レーコンディションの悪化などさまざまな問題が発生することがある。

人工芝を生き生きと長持ちさせるためには、定期的なメンテナンスが重要となる。ちぎれた繊維かすの衣服やシューズへの付着、踏み固められて倒れ、弾力がなくなることによるクッション性の悪化やボールの転がりすぎなど、プレー本来のクオリティーやグラウンドの機能低下、美しさ、プレーヤーの健康確保など人工芝に対するメンテナンスの必要性が広く認識されるようになってきた。

メンテナンス技術の秘密

このようなニーズに応えるために、株式会社 IHI シバウラは、株式会社テクニカルイケジマとロングパイル人工芝管理機 MR-1200 を共同開発した。ロングパイル人工芝のメンテナンスを行う機械として、主に全国の自治体所有の多目的グラウンドや、学校、民間所有のサッカー場、多目的広場、野球場などで使用されている。

ロングパイル人工芝のメンテナンス作業は、

(1) ほぐし&起こし（ブラッシング+レーキ）

芝目に詰まった充填材をほぐし、倒れた芝生を起こして、クッション性の回復を図り、ボールの転がりすぎ防止や膝に対する負担の軽減、芝の見た目をよくする。

(2) ゴミ除去（クリーニング）

芝生の繊維かすや、樹木の枝葉などをかき出して掃除する。

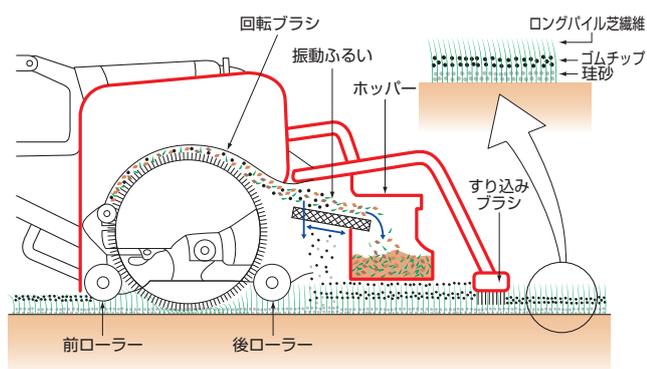
(3) すり込み

珪砂とゴムチップを芝と芝の間にすり込む。

人工芝のメンテナンス機械として、刈り取った天然芝を集める「スイーパー」や、人工芝目の間に珪砂とゴムチップをすり込む「すり込みブラシ」が存在していた。しかし「スイーパー」には、芝目に充填されている砂やチップまで除去してしまうという難点があり、「すり込みブラシ」は倒れた芝を起こすことができなかった。MR-1200 は、ブラッシング、クリーニング、すり込みの三役の作業を同時に行うことができる国産初のメンテナンス専用作業機である。

その仕組みは、以下のとおりである。

① 倒れた人工芝の葉を、回転ブラシとレーキでブラッシングして起こす。



ロングパイル人工芝管理機 MR-1200 構成

- ② 表層面にたまった細かなごみ、珪砂、ゴムチップをかき上げ、振動ふるいへ送り込む。
- ③ 振動ふるいを前後に振動させながら、珪砂とゴムチップは芝面に、切れている芝やごみは後部のホッパーに、それぞれ自動的に選別する。
- ④ 後部のローラーとブラシで傾いた芝面を矯正し、美しく仕上げる。

最高のコンディションが生み出す最高のプレー

MR-1200 によってメンテナンスを行うことで、つねに新設当時に近いコンディションでのプレーが可能になるため、プレーヤー個々の技術レベルの向上に役立つ。また、最高のコンディションをつねに提供できることにより、グラウンドの利用機会の増加、利用者の増加、グラウンド稼働率にもつながることから、今後、さらなる需要拡大が期待される。

ヨーロッパでは、国際サッカー連盟 (FIFA) 公認グラウンドだけでも 1400 か所以上がロングパイル人工芝で人工芝管理機を常設しているが、日本ではほとんど知られていないのが実情である。まずは、ロングパイル人工芝を設置している施設の維持・管理をしている方々に、MR-1200 を使っていただき、メンテナンスの効果を実感してもらいたいと考えている。

そのため、ゴルフ場やグラウンド事業者向けの「芝地用管理機械・資材総合展示会」や「ジャパントーフショー」で MR-1200 の展示を予定している。学校関係者には、校内緑化活動のなかで積極的にアピールをするなど、多種多様な PR 活動を行っている。

全国各地の人工芝のグラウンドで、美しさの象徴であるゼブラ模様を目にすることを願い、人工芝メーカーと連携して、さらなる技術革新に努める所存である。

問い合わせ先

株式会社 IHI シバウラ
機械事業本部 管理部
電話 (0263) 88-0200

URL: www.ih-shibaura.com/